



二葉幼稚園

園のたより

2023年



年間主題 **ともにつむぎだす** ～希望の中で～



4月の聖句

こどもたちを わたしのところに こさせなさい

マルコによる福音書10章14節

4月のさんびか

ちいさい おてて

ようじさんびか5



よろしくね



「揺らぐことのない土台」

お子さまのご入園、ご進級おめでとうございます。

二葉幼稚園では1名の新しい教職員と新入園児35名をお迎えし、2023年度の歩みを始めることができました。新しい出会いに心より感謝いたします。

私は、前年度まで理事長を務められた福島元理事に代わり、今年度4月より理事長を務めることになりました山本一と申します。昨年7月に伊丹教会の牧師として着任し、折々の行事で幼稚園にかかわらせていただいていたのですが、これから二葉幼稚園の運営並びに教職員を支える働きを担ってまいります。

新年度が始まるこの時期になると思い出すことがあります。私が以前勤めていた教会にも付属の幼稚園があり、当時私は毎朝お迎えバスの添乗をしていました。特に新年度が始まって間もない頃は大変でした。お母さんと離れるのがいやで「ママ、ママー！」と泣きながら母にすがりつく子どもをなんとかバスに乗せなければならないのです。最初はとても心が痛みました。けれども案外、そんな子がバスに乗るとケロッとしたように友達と話を始めたり、誰よりも幼稚園が好きになり、卒園時には寂しくて涙を流したりする子もいるのを見て、「ああ、こうして子どもたちは新しい喜びを発見し、自分の世界を広げていくんだ」ということを教えられたのです。

生まれてから、ずっと家族のそばにいた3歳児にとって、幼稚園に通い始めるということには未知の世界に足を踏み出すような不安があり、勇気のいることです。けれども、そんな子どもたちも幼稚園で新しい友だちと出会い、先生たちの愛に育まれ、幼稚園を大好きになって卒園していきます。

聖書には「岩の上に家を建てなさい」というイエス・キリストの言葉があります。全ての建物にとって土台が最も大切であるように、私たち人間にとっても最も大切なのは幼児期の土台造りです。幼稚園は子どもたちにとって社会生活の第一歩です。

ここで子どもたちは基礎的な学習能力やコミュニケーション能力を豊かに育みます。それに加え、二葉幼稚園ではキリスト教保育を通して、どんなときにも揺らぐことのない神さまの愛が伝えられ、教職員はじめ園の活動を支える多くの人々の愛を豊かに受けて育っていきます。

この二葉幼稚園に在園する子どもたちが「揺らぐことのない人生の土台」を豊かに育むことができるよう、これから牧師として日々祈り、理事長として全力を尽くしてまいります。皆さま、何卒よろしくお願ひいたします。 【理事長 山本 一】